

日眼協 SDGs 宣言

「メガネですべての人が豊かな生活を送れる社会をつくろう」

～眼鏡業界の SDGs 取り組みについて～

SDGs 即ち「S:sustainable D:development G:goals 持続可能な開発目標」とは、2015年に国連が採択した、先進国を含む国際社会全体の2030年に向けた環境・経済・社会についてのゴールです。私たちの地球の全ての人たちが、誰一人取り残されることなく、将来にわたって継続的に安全・快適に暮らし続けられる、持続可能な（サステナブルな）環境・社会をつくりましょう、というものです。

そのために、国や自治体だけでなく、企業や団体（経済活動をする組織）が参加しなければなりません。特に先進国の企業では、急速に参加機運が高まってきており、我が国でも、多くの業界や企業が、丸いカラフルなバッジ（カラーホイールバッジ）をつけて、参加を表明しています。

私たち日本の眼鏡業界は、個々の事業者は中小規模がほとんどで、個別の参加取り組みには限界があります。よって、“業界で”取り組むのが規模的にも効果が見込める上に、社会的なメッセージ性も非常に高いと思われ、むしろ積極的に取り組むことで、全方位のWIN・WIN・WINも描けると考えられます。

全ての生活者の“快適な暮らし”【=QOL(Quality of Life)】の向上に欠かせぬ、快適な視覚【=QOV(Quality of Vision)】を提供することは、私たち眼鏡産業の基本的な使命です。我が国に於いては、昨今の少子化・超高齢社会による人材不足や消費者ニーズの多様化等により、私たち眼鏡業界もマーケット構造が大きく変わりました。そのような中で、事業が将来にわたって継続し、より発展していくために必要となるのが、長期的な視点で社会のニーズを重視した経営・事業展開であり、昨今ESG経営といわれているものです。

E:environment 環境 S:social 社会 G:governance 企業統治です。この3つの要素を包含した社会課題への具体的取り組み活動がSDGs活動であり、これからの事業発展には欠かせぬ要素となっています。

いまやあらゆる業界で、経営リスクの回避と新たなビジネスチャンスを創出して持続可能性を追求するためのツールとして、SDGsの活用が注目を集めていますから、眼鏡業界でも速やかに、これを取り組み、発信して、生活者に関心を持ってもらい、メガネの専門性や重要性を知っていただくことが、業界の活性化につながると考えています。

SDGsは、何よりも、「まず自分から行動する」といった能動的、主体的なマインドセットが必須です。業界の関係各位におかれましては、ご高察の上、宜しくご協力賜りますようお願い申し上げます。

以上

2020年2月

日本眼鏡関連団体協議会